

シラバス参照

科目名	薬学概論
配当年次	1年次
開講期間	前期
単位数	2
担当教員	一色 恭徳(イツシキ ヤスノリ) 井上 直子(イノウエ ナオコ) 井上 裕(イノウエ ユタカ) 上田 秀雄(ウエダ ヒデオ) 内田 昌希(ウチダ マサキ) 大嶋 繁(オオシマ シゲル) 大島 新司(オオシマ シンジ) 大竹 一男(オオタケ カズオ) 大山 翠(オオヤマ ミドリ) 小林 大介(コバヤシ ダイスケ) 関 智宏(セキ トモヒロ) 高山 淳(タカヤマ ジュン) 松崎 広和(マツザキ ヒロカズ) 茂木 肇(モテキ ハジメ) 八巻 努(ヤマキ ツトム)
期間・曜日・時限・教室	前期 火曜日 1時限 18-101

※	高山 淳(たかやま じゅん)、内田 昌希(うちだ まさき)、大竹 一男(おおたけ かずお)
授業の目的・目標	医療者である薬剤師は、医療全般の制度や仕組みや薬剤師という職業を理解し、他の医療者との連携を図ることで初めて社会に貢献できます。 本授業は、専門的な学習を開始する窓口となる導入教育教科です。従って、医療人を目指す薬学生として、薬学の歴史、薬学の領域、生命および医療倫理、薬剤師として必要な基本的スキルを知り、薬学の学問分野と薬剤師の職能との関連性について理解することが目標となります。(知識・理解、汎用的技能、態度・志向性)
準備学習等の指示	授業開始前には必ず講義スケジュールにより当日の授業実施教室や内容を確認し、授業終了後には必ず教科書・資料等により、当日の授業内容のポイントを再確認してください。
講義スケジュール	<p>1 ガイダンス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来の医療の担い手となる薬学生として身につけなければならない態度とルールを理解し、守ることができる。(倫理観) <p>2 薬学および薬剤師の歴史</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療や医薬品に関する歴史的背景を理解し、薬学や薬剤師が医療に対して果たしてきた役割を概説できる。(知識・理解、社会的責任) <p>3 医療における薬剤師の役割①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の医療費および医療制度の概略を理解し、医療現場における薬剤師の業務について概説できる。(知識・理解) <p>4 医療における薬剤師の役割②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の医療費および医療制度の概略を理解し、救急医療、災害医療、公衆衛生における薬剤師の業務を概説できる。(知識・理解) <p>5 社会のニーズと薬剤師業務①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養、運動、セルフメディケーションなど通じた地域住民の健康な生活確保に対する薬剤師業務の重要性について説明できる。(知識・理解) <p>6 社会のニーズと薬剤師業務②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療における薬剤師業務および在宅医療における薬剤師の新たなスキルの重要性について説明できる。(知識・理解) <p>7 不自由体験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義や講演および自らの不自由体験を通じて、高齢者や障害を抱えている生活者およびその介護・介助にあたる人の思いを理解できる。 ・不自由体験を通じて、生活に不自由を抱える生活者の気持ちを考えることができる。(社会的責任) <p>8-9 生命と倫理演習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生命倫理の基本的概念について調査し、身近な問題との関連性を概説できる。(倫理観、論理的思考力)

	<p>10 生命倫理と医療倫理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生命現象や医療の科学的な取り扱いに関する倫理的な考え方の基本を概説できる。 ・科学技術の進歩と倫理的問題の変遷について概説できる。(倫理観) <p>11 生命倫理と医療倫理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生命倫理および医療倫理に関わる身近な問題について討議することができる。(倫理観、論理的思考力) <p>12 生殖医療と生命の尊厳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生殖医療に関する倫理的な考え方の基本を概説できる。(倫理観) ・生殖医療に関わる身近な問題について討議することができる。(倫理観、論理的思考力) <p>13-14 早期体験とグループ討論</p> <ul style="list-style-type: none"> ・薬剤師の活躍の場を見聞した体験に基づき、地域医療、保健、福祉に対する薬剤師業務の重要性を議論できる。(知識・理解、論理的思考力) <p>15 薬学概論まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・薬学概論の内容を概説し、感じた印象を共有し、今後学んでいく目標を示すことができる。
教科書	スタンダード薬学シリーズII1 薬学総論 I.薬剤師としての基本事項(東京化学同人)日本薬学会編
参考文献	授業内で指示する。
授業の方法	別途指示する。
成績評価方法	出席(60%)、課題レポート(30%)、グループワークプロダクト(10%)により総合評価します。
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー
居室	各教員の居室
ホームページ	
その他特記事項	薬学概論はフレッシュマンセミナー(薬学)Aならびに薬学実習Aと密接に関連しています。 授業内で配布されるスケジュールを確認し、適切な行動を取ってください。
添付ファイル	